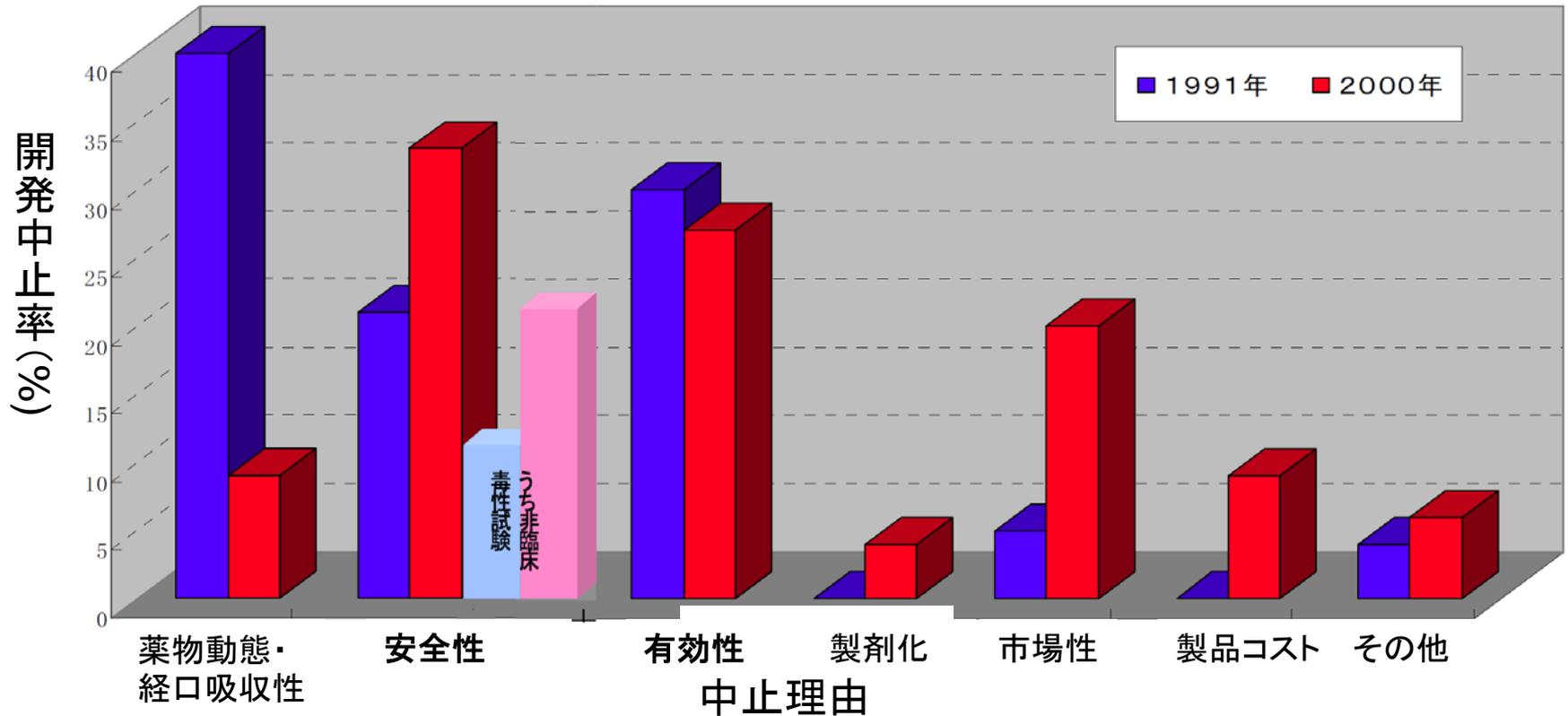


開発候補化合物の開発中止理由 (1991 vs 2000)



- ・ 1991年：薬物動態の問題が主たる要因。2000年：安全性上の理由が増加。
- ・ 臨床試験を複数回実施するケースが増加し、臨床開発期間の長期化、費用の増加を招いている。

出所：製薬協医薬産業政策研「製薬産業の将来像～2015年に向けた産業の使命と課題～」
(Frank R and Hargreaves R, Nature Rev. Drug Discov. 2: 566-580 (2003)を一部改変)